



40歳 3児の父

村井 ひでき 通信 増刊号

自由民主党 衆議院議員

埼玉一区 (岩槻区・浦和区・練区・見沼区)

衆議院議員 村井ひできです。菅義偉内閣が発足しました。7年9月に及んだ安倍政権の経済・外交政策の大枠は引き継ぎながら、政府与党一体となって、現下の新型コロナウイルス対策に全力を挙げると共に、よりオープンで丁寧な政治を心掛けて参ります。

本号では、国政3期目・約3年間の村井ひできの活動について、写真と共に紹介させていただきます。改めて振り返ると、皆様のご支援のお陰様で、徐々に責任ある立場を任せられ、全力で国政の課題に取り組んだ3年間でした。今後も政策本位で、全身全霊、職務に精励して参ります。

① 前回の衆議院選挙の公約を実現 ② 全力でコロナ対応・幅広く政策立案 ③ 各種メディアから高い評価

3年半前の若手の問題提起が契機に 多数の国会答弁を行いました



具体的な線引きの部分はこれから詰めていくべきところだと思っています

内閣府大臣政務官 村井 英樹

3年前の衆議院選挙で訴えた幼児教育・保育の無償化。

核家族化が進み、共働き世帯が一般的になるなど、子育て環境が大きく変化する中で、**子育て支援を抜本拡充することで、我が国の最大の課題である少子化問題に歯止めをかけていく。**我々若手議員の問題提起が、政権の最重要課題となり、前回衆院選の公約となりました。

私自身は、前回の選挙後、担当の内閣府大臣政務官として、役所の皆さんと課題を一つ一つ乗り越えながら、詳細な制度設計を行いました。そして、**昨年10月、幼児教育・保育の無償化が遂に実現しました。**

～地元の皆さんの声が活動の原点です～



多くの皆さんは、普段政治と関わる機会はありません。ただ、そんな方の声こそが、私の政治活動の原点です。政治は特定の業界や団体のものではありません。幼児教育・保育の無償化を制度設計するにあたっては、地元の「パパ友」や子育て世代の皆さんの声が大変参考になりました。また、現在全力で取り組んでいる、学童保育制度の拡充も、与野駅前でお母さんの声がきっかけです。これからも皆様の声をお待ちしています。

県庁で医療提供体制整備に向けた提案 菅官房長官（当時）に政策提言



さいたま市では、新型コロナ感染拡大当初、PCR検査が受けられないことや、患者用ベッドが十分確保できないことが大きな課題でした。

そのため、市保健福祉局と連携し、国の補助金を活用して**市健康科学研究センターにPCR検査機器を追加導入**。また、厚労省と埼玉県・さいたま市間を調整し、第二波・第三波に備え、**今年度取壊し予定だった市立病院旧病棟の有効活用に道筋をつける等、医療提供体制整備に取組みました。**

国政では、党政務調査会で、政策作りの中心となる「事務局長」を幾つも兼任。通常、一議員に一つ事務局長が任せられるところ、**8つの事務局長を任せられ「Mr.事務局長」と呼ばれています。**

～幅広い分野で、「Mr.事務局長」として活躍～

- ・年金委員会（自民党政務調査会で最も重要な委員会）
- ・競争政策調査会（デジタル経済時代のルールづくり）
- ・司法制度調査会（在留外国人政策などについて扱う）
- ・薬事小委員会（薬価制度・製薬など薬に関する政策づくり）
- ・医療事故調査制度の見直し等に関するWT
- ・秋季入学制度検討WT（9月入学制度について検討）
- ・スポーツビジネス小委員会（スポーツ産業の活性化を図る）
- ・衆議院改革実現のためのPT（国会改革を進めるための組織）

さいたま市内の医療体制整備・PCR検査能力向上へ！

「次世代のリーダー」に選出される！

朝まで生テレビにも出演 日本記者クラブで会見



3期目も多くのメディアに取り上げられ、高い評価を頂きました。

特に、田原総一郎（著）「令和の日本革命」では、**次世代のリーダー4人の一人**に選ばれました。日本記者クラブからも、「ポスト平成」時代に最も活躍が期待される国会議員として、お招きを頂き、インタビューを受けました。

また、「週刊現代」の特別企画「**将来、総理になれる人 ならぬ人ランキング**」で村井ひできは、**政策力A・行動力A・人間力Bで、全国会議員706人中31位**の評価を頂きました。**世襲ではない若手議員で50位以内は村井のみ。**人間力もしっかり磨きます。

～最近の主なメディア出演・掲載～

- 9/10 中央公論「対談：村井英樹 衆議院議員 × 松井孝治 元官房副長官」～鍵握る国会改革とデジタル化～
- 9/8 日経新聞～「首相を決める戦い」は衆院選まで完結しない～
- 9/1 FNNプライムオンライン「自民党を変えるには権力を奪うしかない」若手議員たちの下克上始まるか
- 8/31 報道ステーション「議員署名100人 幹事長に申し入れ」
- 8/31 Nスタ「「開かれた」党員投票求める声」
- 8/7 東洋経済「コロナで疲弊する医療者を救う手立てはあるか」



そういう意味でなるべく開かれた形の総裁選が重要になるということだろう

内閣府大臣政務官として、幼児教育・保育を無償化！

写真で見る 村井ひでき 国政3期目の活動

コロナで影響を受けた花農家の方からお話を伺う



今般のコロナ経済対策は、前例のない規模と内容で、また順次発表されたため、速やかな周知が重要でした。そのため、**地元経済・雇用を支える事業者の方に、対策が発表される毎に解説資料を郵送**。その数はのべ3万件に達しました。また、対策内容は事務所スタッフに共有。事務所一丸で、対策の周知・申請のお手伝いを行っています。

コロナ経済対策・支援策をいち早くお知らせ

西村康稔・社会保障改革担当大臣と打ち合わせ



人生100年時代を見据え、年金のもらい始めの時期を幅広く選べるようにする「受給開始年齢の柔軟化」、将来の低年金・無年金対策となる「社会保険の適用拡大」などの「**年金改革法**」を、この**3年間で、企画立案・成立させました**。また、さいたま市で大きな課題となっている**学童保育制度の拡充**にも全力で取り組んでいます。

年金・医療・介護・子育てはライフワーク

さいたま市内の小学校の国会見学で挨拶



現在、公立小学校の先生の残業時間は、年平均800時間以上、中学校では1100時間以上。この状況は、教師の働き方として問題なのは勿論、教師の成り手不足に拍車をかけ、最終的には「国家100年の計」たる教育の質の低下につながる大問題です。**文部科学委員会 理事として、問題解決に向けた「給特法改正法」の成立に尽力しました**。

子どもたちの教育環境の向上に注力

様々な場面で国会改革の必要性を訴え



「政府与党が悪い」、「野党が悪い」という不毛な責任の押し付け合いを脱却し、政策本位の国会を実現するためには、55年体制を前提とした旧来型の国会の仕組みの改革が不可欠。その思いで、小泉進次郎議員らと提言をとりまとめ、その実現に向け汗をかいています。**我々世代で国会のあり方を必ず変えてみせます**。（詳細は通信26号参照）

政治不信を乗り越える国会改革を！

ハドソン研究所ワインシュタイン所長（次期駐日大使）と対談。



昨年5月に米国ワシントンを訪れ、**安倍総理も講演を行ったシンクタンクCSISで講演を行う**と共に、多くの政府関係者や上院議員と面会。令和の時代も、我が国の平和を守り抜いていくためには、米国との連携が欠かせません。そのためにも、米国が抱える様々な国内課題への理解と、政策担当者との信頼関係の醸成に引き続き努めます。

日米関係は我が国外交の基本

いつもにぎやかな三人の息子たちと



昨年8月に3人目の男の子が生まれ、お陰様で家族5人で賑やかに暮らしています。早いもので長男は来年4月から小学生。男の子3人のエネルギーに圧倒されながらも、日々元気をもらっています。家族に感謝しつつ、子育て世代の代表として、子育て世帯の悩みや要望を国政の場でしっかり政策に落とし込んで参ります。

家族が5人になりました！

【村井ひできミニプロフィール】

昭和55年さいたま市生まれ。40歳。家族：妻・長男（5歳）・二男（3歳）・三男（1歳）。浦和区在住。浦和市立別所小学校卒業。東京大学卒業後、財務省入省。ハーバード大学大学院修了。平成23年財務省退官（主税局参事官補佐）。平成24年衆議院選挙初当選。平成26年再選。平成29年3選。

昨年12月、さいたま国際マラソンに出場。5時間8分58秒のタイムで完走しました。写真は40キロ付近で苦悶の表情を浮かべる様子。



地元事務所

国会事務所

〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-27-9
TEL:048-711-3241 / FAX:048-711-3242

〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館911号室
TEL:03-3508-7467 / FAX:03-3508-3297